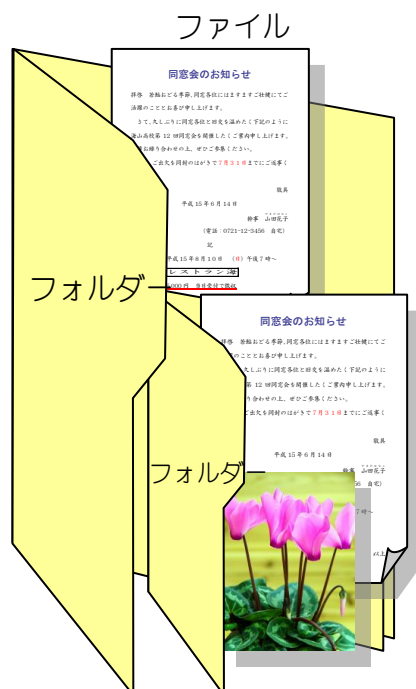
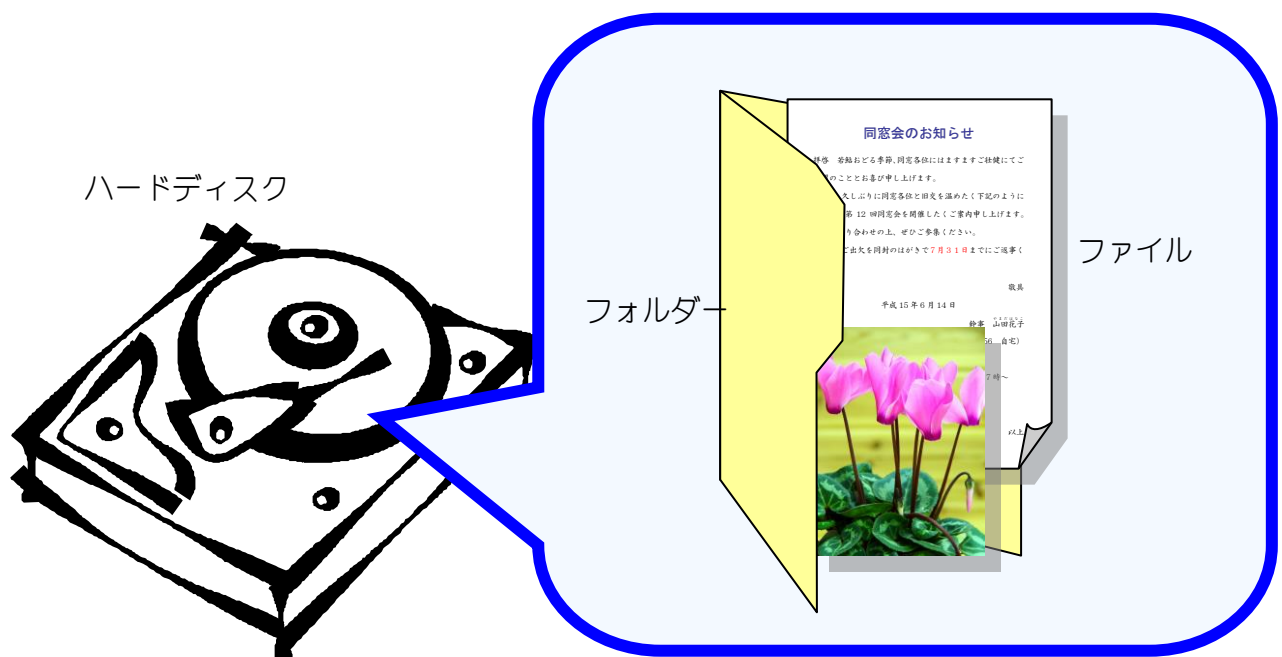


# 第1章 ■ ファイルとフォルダーの操作

## STEP 1. ファイルの保存

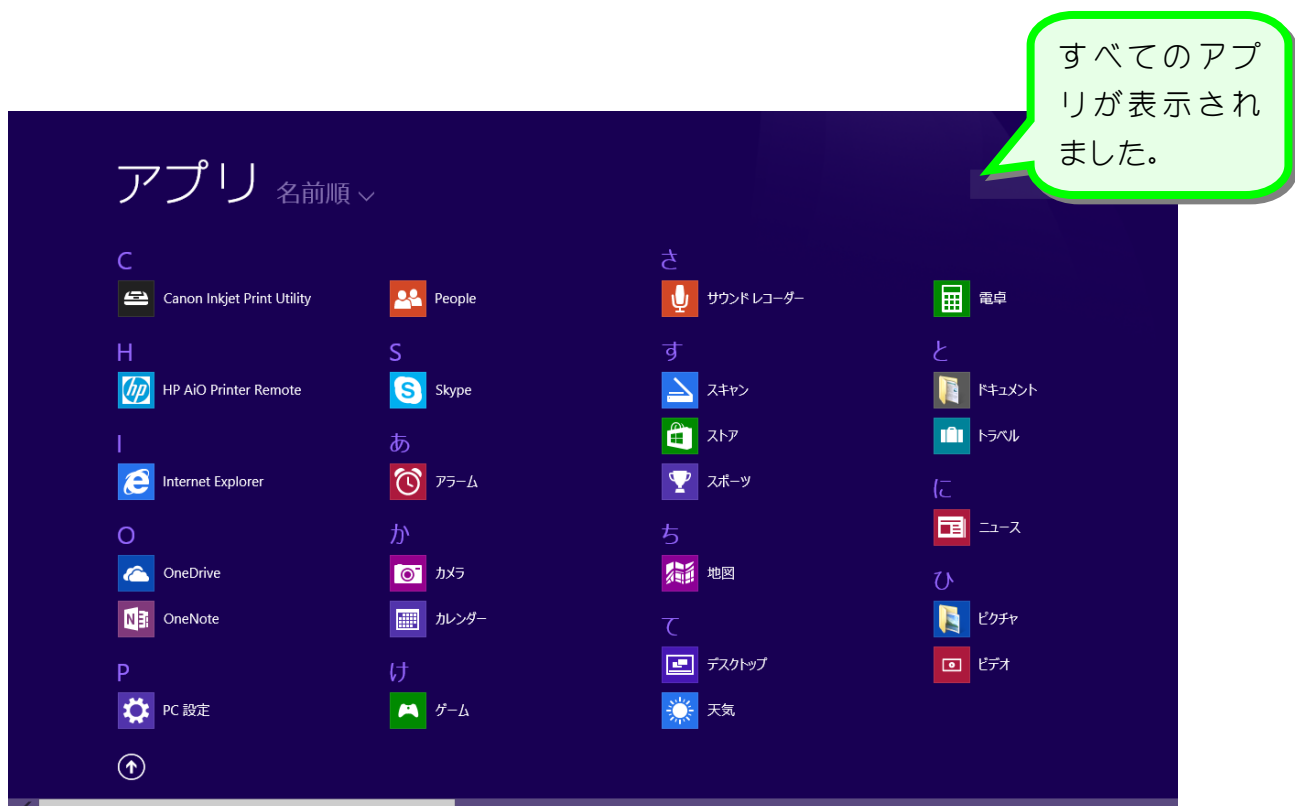
パソコンの中のデータやプログラムは**ファイル**という形で**ハードディスク**という記憶装置の中に記録されています。ワープロで作った文書やデジカメで写した写真のデータなども同じ**ファイル**の形で保存されています。これらのファイルを整理して保存するために**フォルダー**という入れ物を使います。



フォルダーの中には、ファイルのほかにフォルダーも作ることができます。

## 1. ペイントを起動しよう

ペイントを使って画像のファイルをピクチャに作ってみましょう。





## 解説 Windowsストアアプリ と デスクトップアプリ

### Windows (ウィンドウズ) ストアアプリ

Windows 8.1用に新しく開発されたアプリ(ソフト)でタッチ操作に適しています。

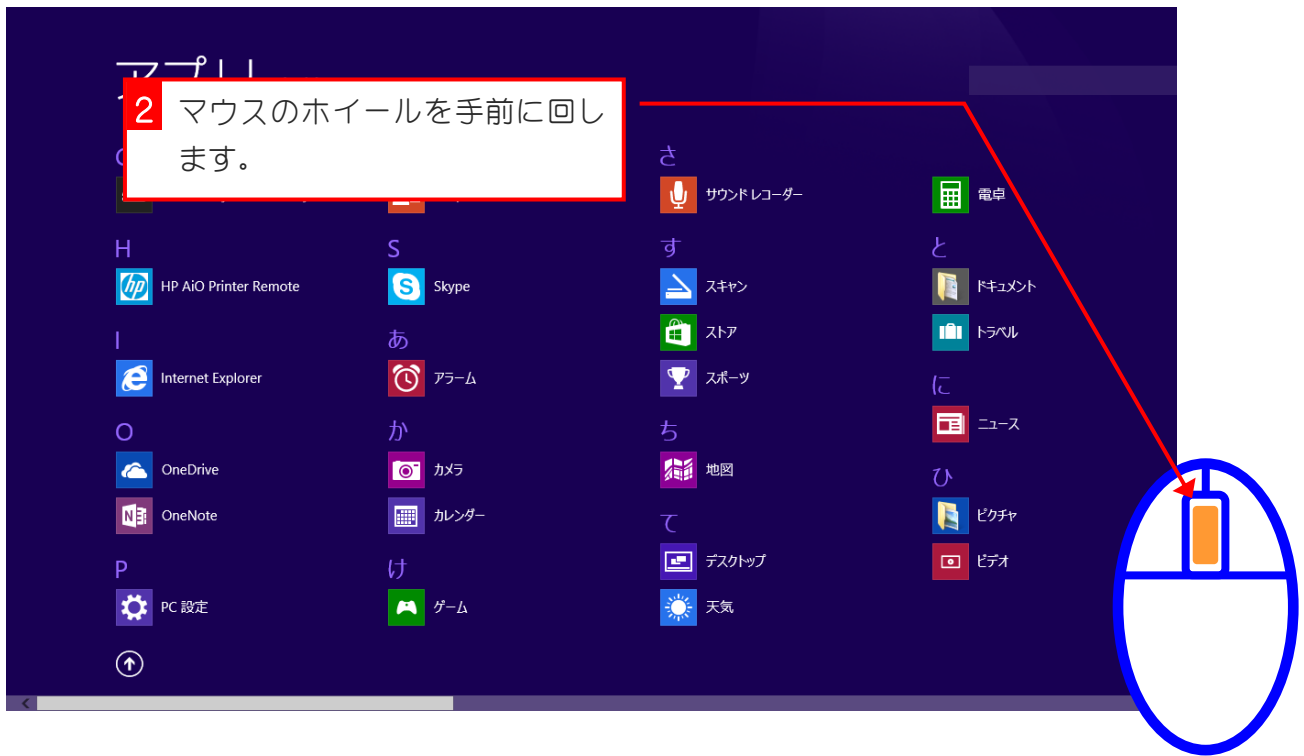
Windows ストアアプリを起動すると、画面いっぱいに表示されサイズ変更はできません。

Windows ストアアプリは「Windowsストア」から入手して利用します。

### デスクトップアプリ

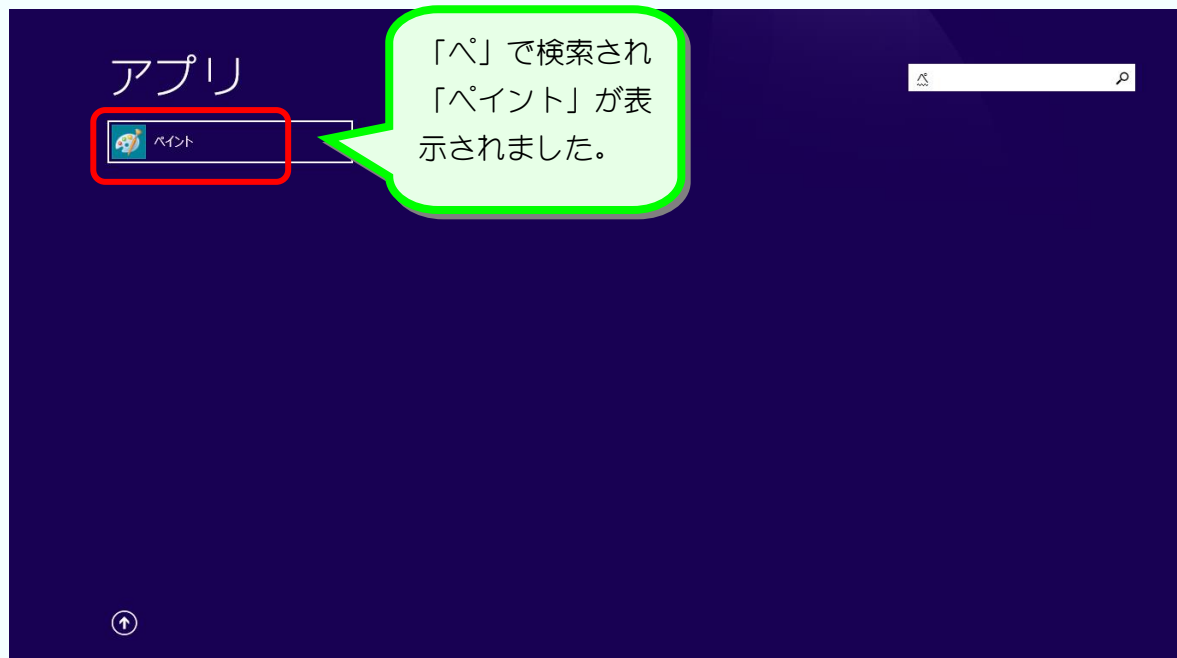
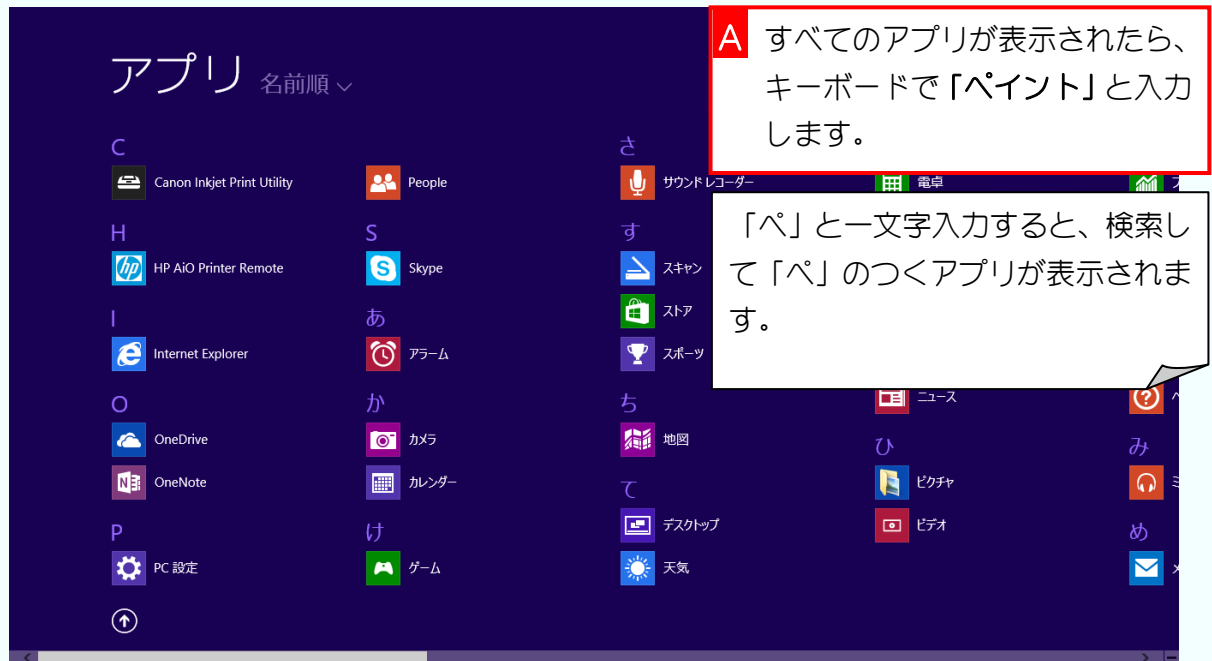
Windows 7のパソコンで使用していたアプリ(ソフト)で、従来型のデスクトップ環境で利用します。デスクトップアプリを起動するとサイズ変更が可能な枠(ウィンドウ)内に表示されます。

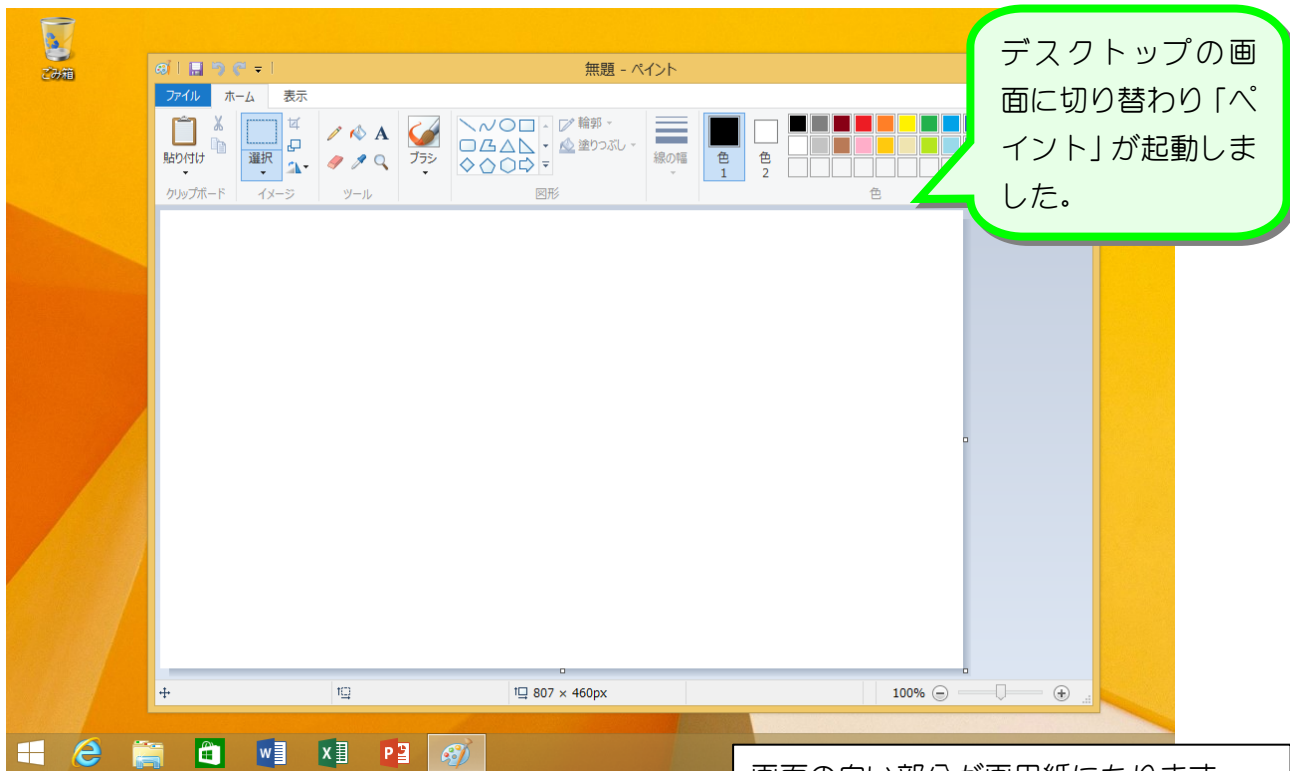
タッチ操作の可能なアプリもありますが、多くのアプリはマウスを使ったほうが扱いやすいでしょう。




## 参考 検索でペイントを表示させる

たくさんのアプリで見つけ出しにくい場合、すべてのアプリが表示されたら、クリックせず検索したいアプリの名前をキーボードで入力します。

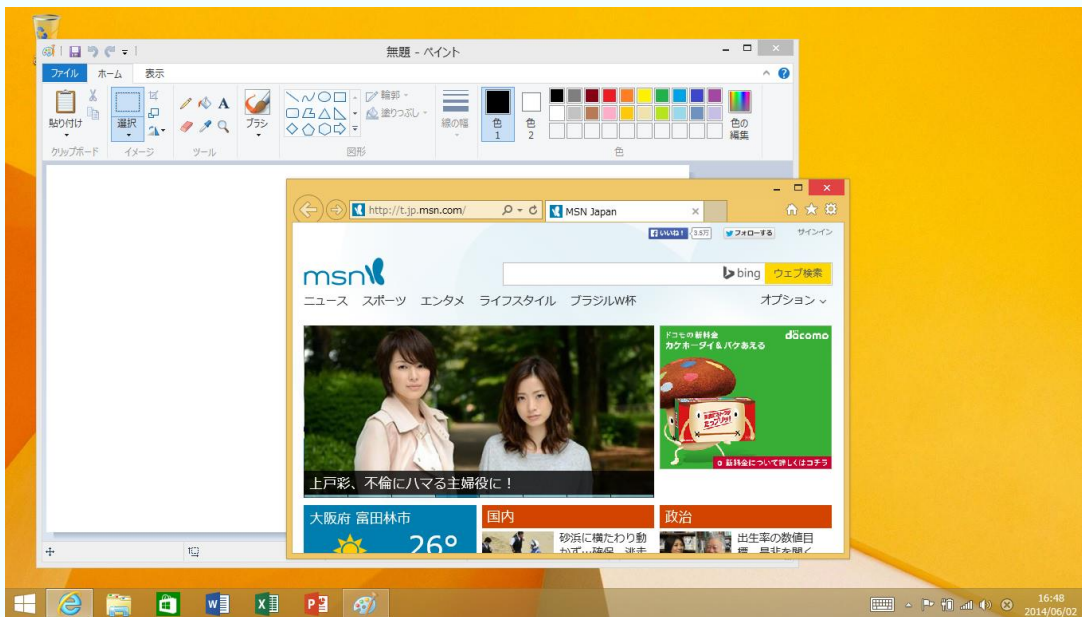




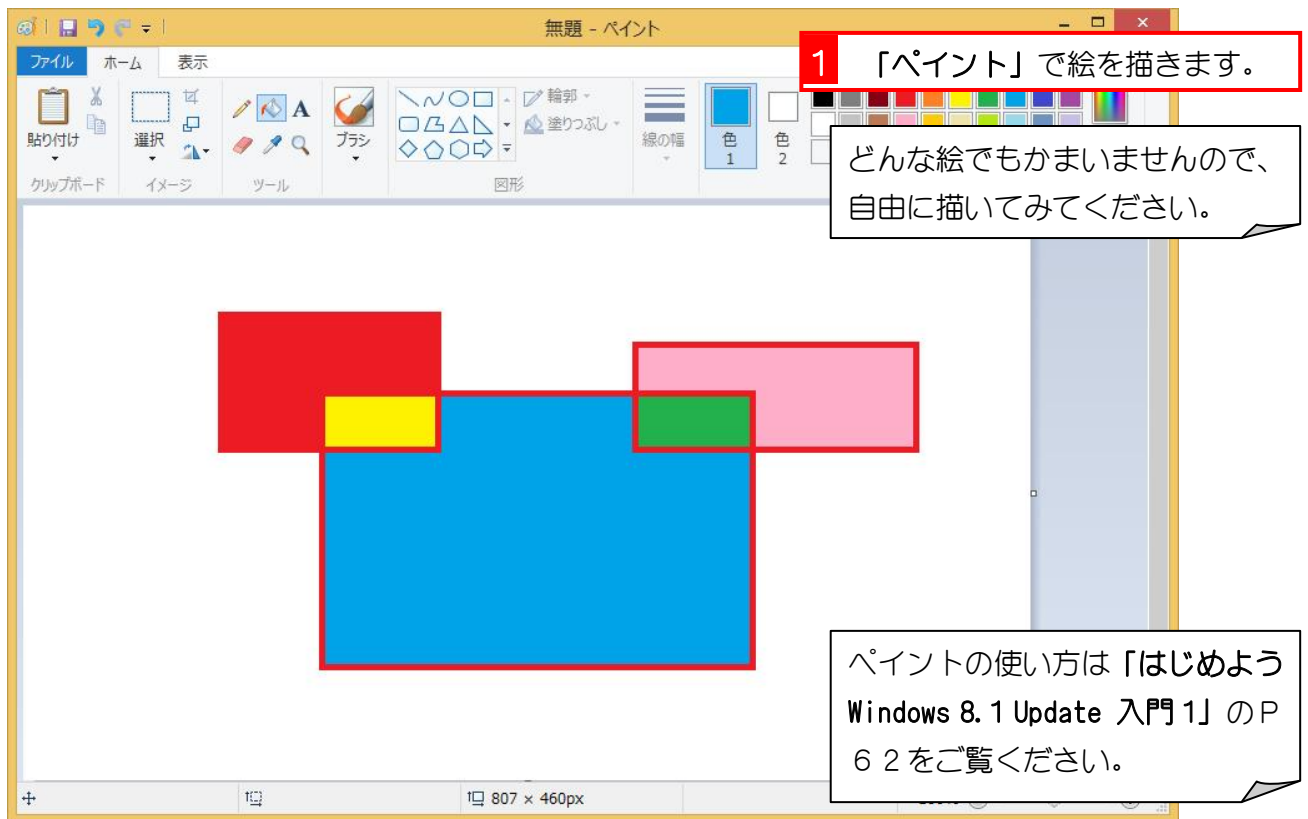
画面の白い部分が画用紙になります。マウスポインタをこの白い部分に移動すると、 の形になります。

## 解説 ウィンドウ

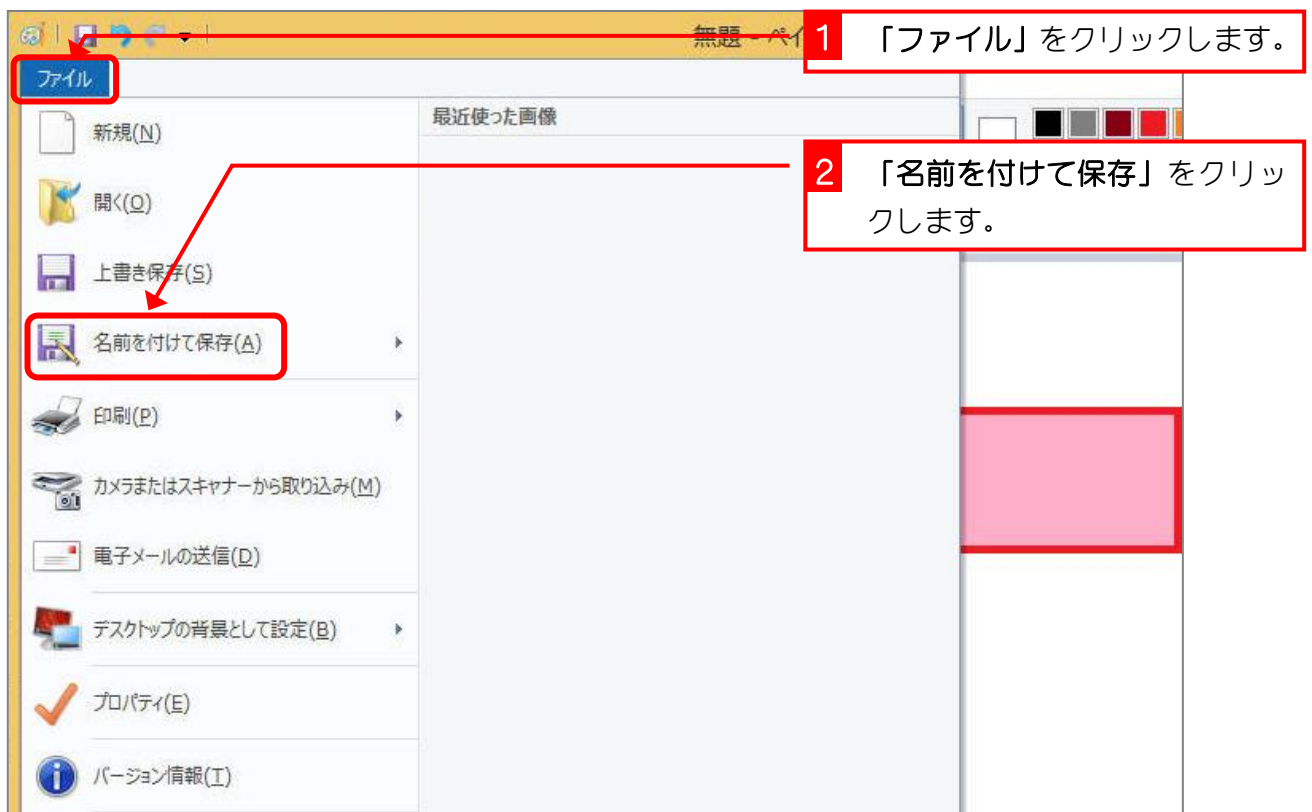
ペイントを起動するとデスクトップに四角い枠が表示されました。この四角い枠を「ウィンドウ」と呼びます。ウィンドウは大きさや場所を自由に変更することができ、一度にいくつかのウィンドウを開いている色々なアプリを同時に使うことができます。下の図ではペイントとインターネットを同時に開いています。

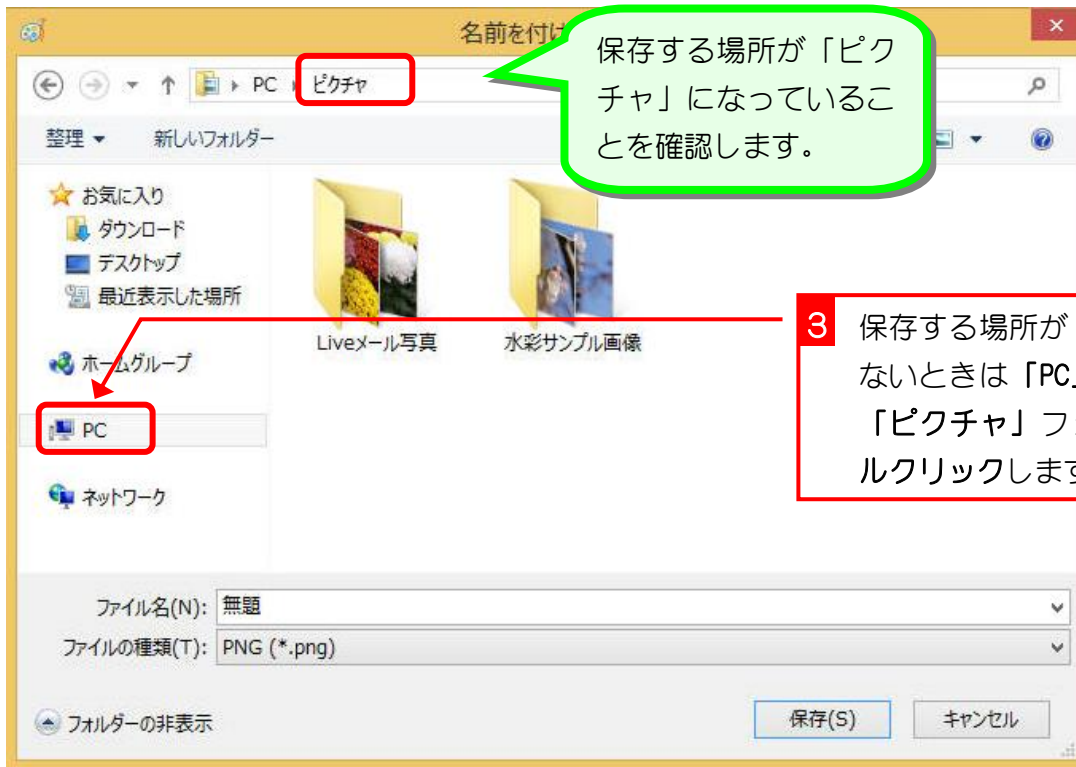


## 2. 絵を描きましょう



## 3. 絵を保存しましょう





## 参考

「名前を付けて保存」の画面が小さいときは

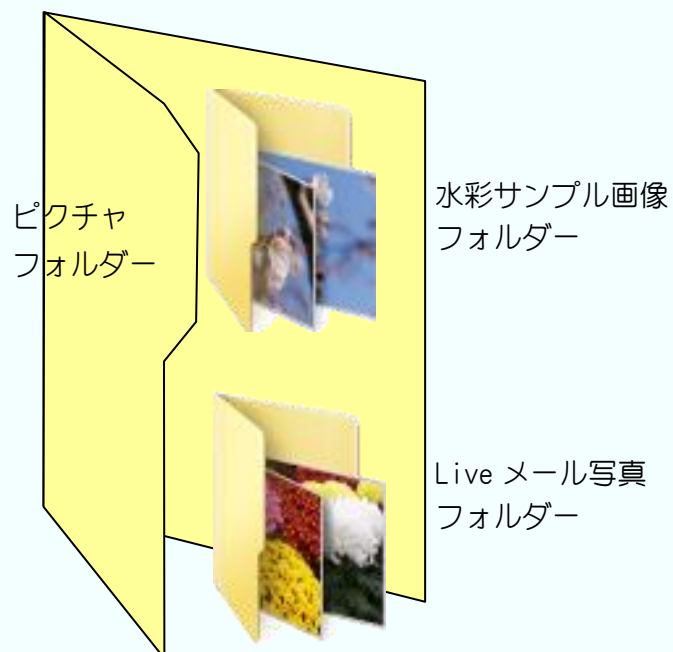


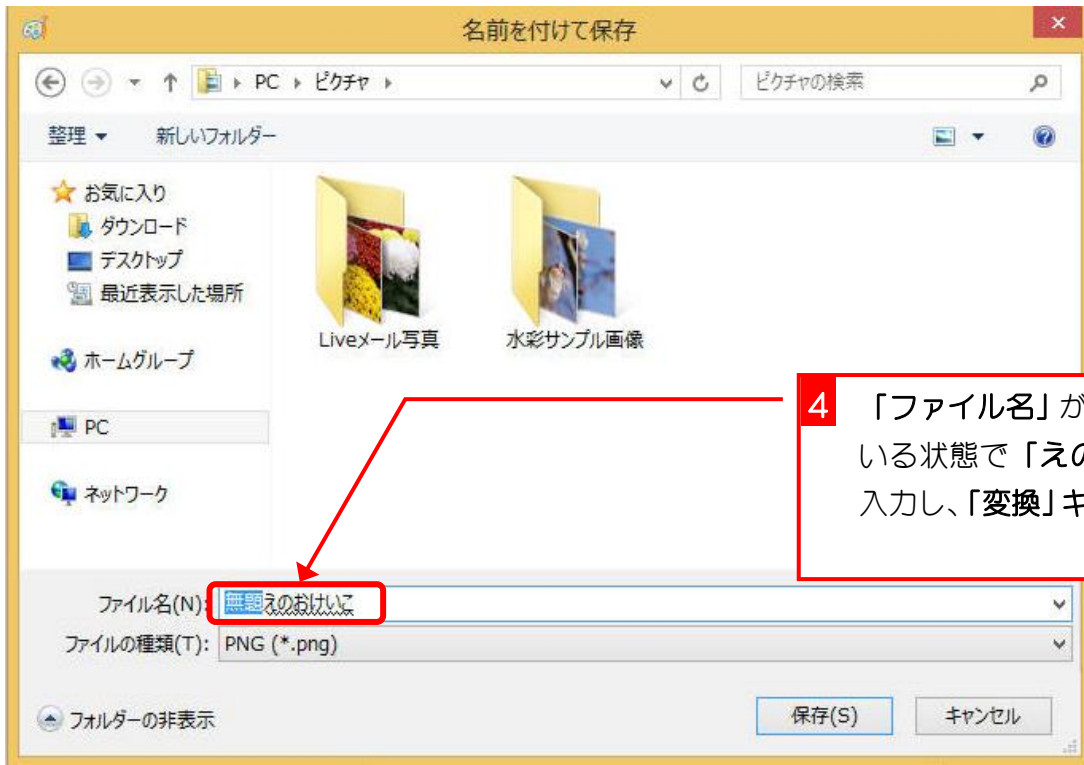
A 「フォルダーの参照」をクリックします。



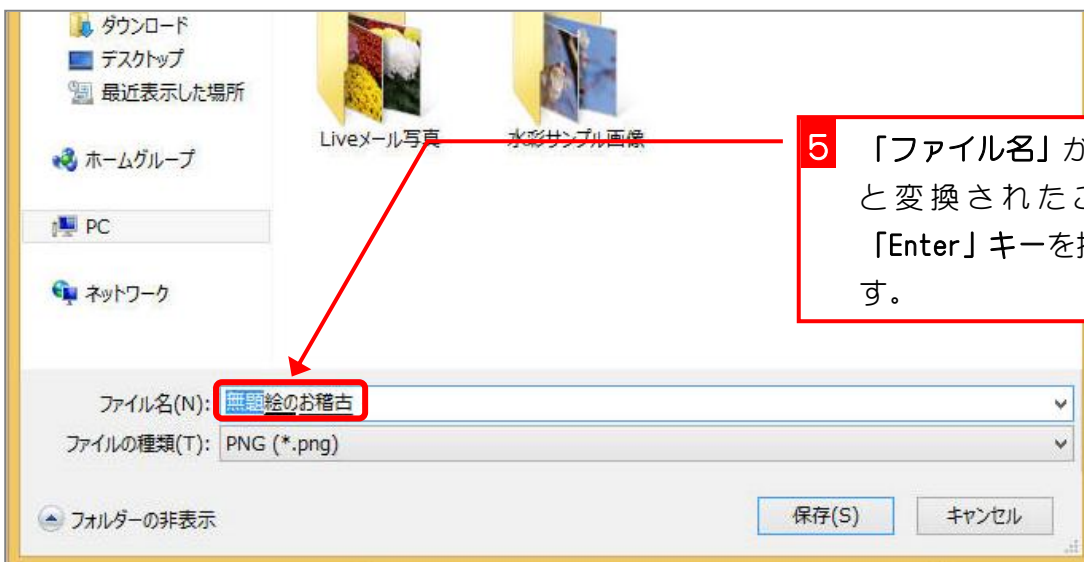
## 解説

「ピクチャ」は Windows 8.1 Update が標準で用意した、写真などを入れるための「フォルダー」（入れ物）です。下の図では「ピクチャ」フォルダーの中に「水彩サンプル画像」フォルダーと、「Live メール写真」フォルダーが入っています。

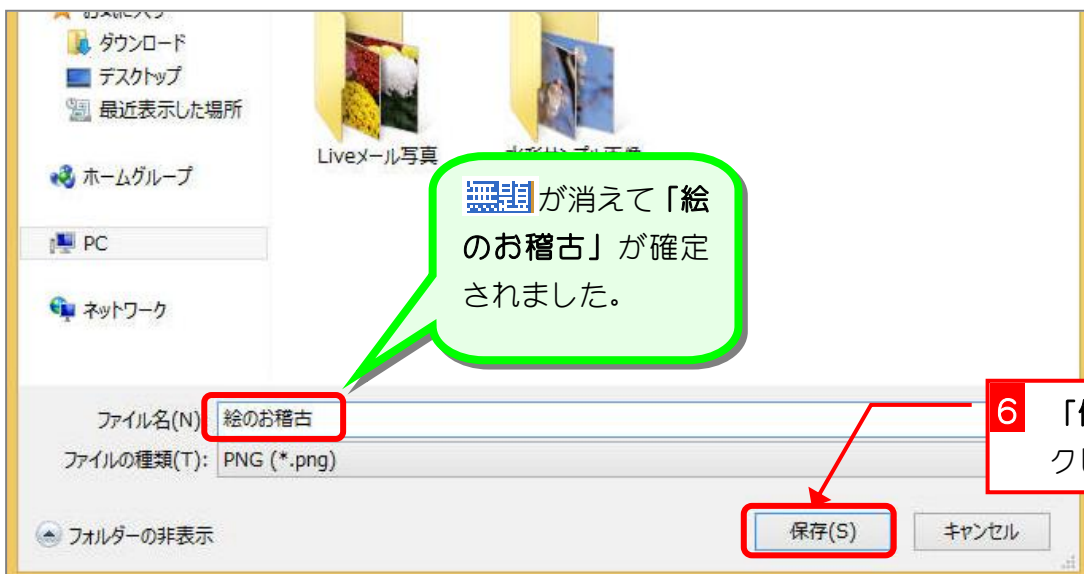




4 「ファイル名」が「無題」になっている状態で「えのおけいこ」と入力し、「変換」キーを押します。



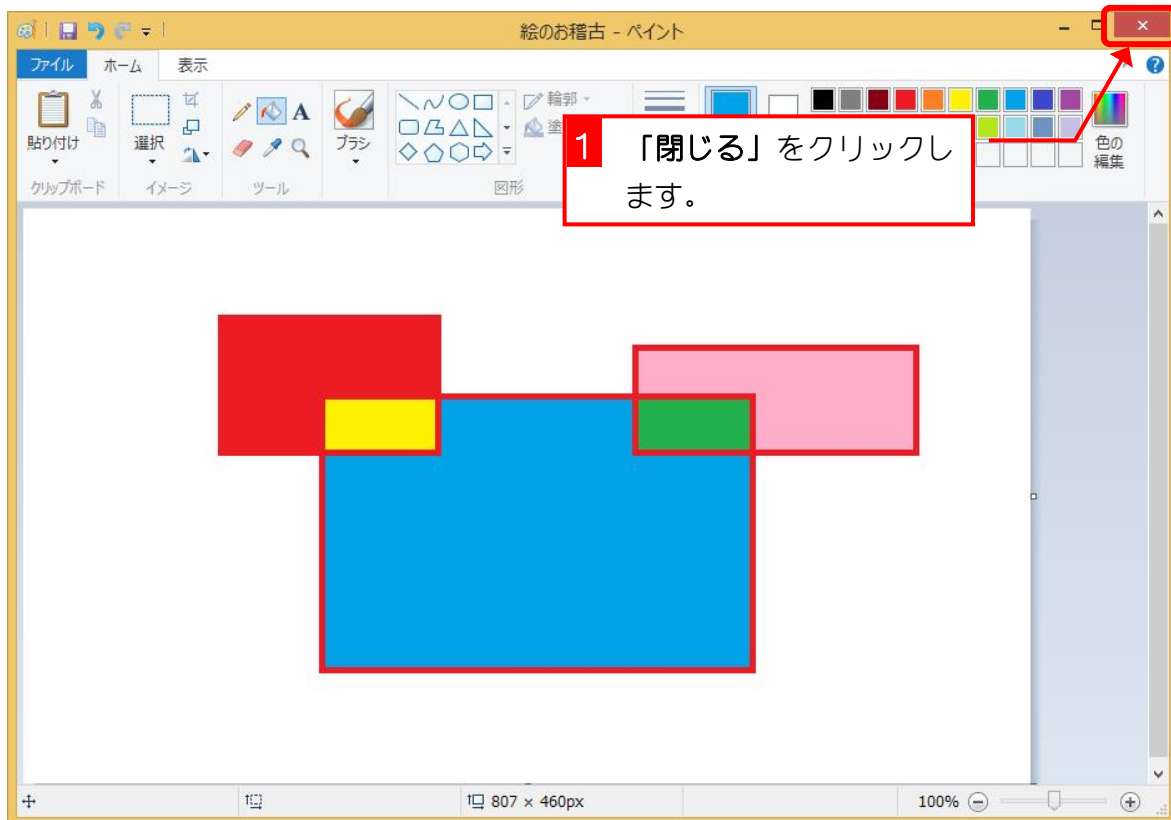
5 「ファイル名」が「絵のお稽古」と変換されたことを確認し「Enter」キーを押して確定します。



無題が消えて「絵のお稽古」が確定されました。

6 「保存」をクリックします。

## 4. ペイントを終了しましょう



## 5. 保存したファイルを確認しましょう

エクスプローラーから「ピクチャ」を開いて「絵のお稽古」が保存されているか確認しましょう。

